

## 不適合の管理状況(平成26年1月後半審議分)

平成26年1月16日～平成26年1月31日 の間に、不適合判定検討会にて審議し、不適合と判定したもの。  
 なお、不適合事象は重要度に応じて「A～Cのグレード分け」を行い、管理の程度を定めている。

【Aグレード】 0 件  
 対象となる事象は、ありませんでした。

【Bグレード】 0 件  
 対象となる事象は、ありませんでした。

【Cグレード】 22 件

No	審議日	号機	プラント 運転状態	不適合事象・処置計画
1	1月17日	共通	—	サーベイメーターの点検において、GM計数管(GM-78)が故障していることを確認した。  当該GM計数管を補修する。  (サーベイメーター:持ち運び可能な放射線量を測定する器具) (GM計数管:サーベイメーターの一種であり、内部に充填されたガスが放射線により電離することを利用して線量の測定を行う機器)
2	1月20日	2号機	定期検査中	タービン補機海水系設備において、ポンプの出口に設置されたドレン弁のシート部からのわずかな水の漏えいを確認した。  当該弁を補修する。  (タービン補機海水系設備:主タービン関係のポンプ、電動機等の機器へ供給している冷却水を冷やす熱交換器へ海水を供給する設備) (ドレン弁:水を抜くための弁)
3	1月20日	2号機	定期検査中	洗濯廃液処理設備の点検において、ランドリドレン濃縮器循環ポンプのケーシングリングが摩耗していることを確認した。  当該ポンプを補修する。  (洗濯廃液処理設備:洗濯後の排水を処理する設備) (ランドリドレン濃縮器循環ポンプ:洗濯排水を濃縮処理するため、排水を加熱器に送るポンプ) (ケーシングリング:ポンプの羽根車とケーシングとの摺動部分に取付けられた部品)
4	1月21日	共通	—	サーベイメーターの点検において、GM計数管(GM-112)が故障していることを確認した。  当該GM計数管を補修する。

No	審議日	号機	プラント 運転状態	不適合事象・処置計画
5	1月21日	2号機	定期検査中	非常用ディーゼル発電設備の点検において、燃料噴射弁の噴霧テストを実施したところ、一部の弁に噴霧不良があることを確認した。 当該弁を補修する。 (非常用ディーゼル発電設備:外部からの電力供給がなくなった場合に炉心を緊急冷却する設備に電力を供給するための設備) (燃料噴射弁:燃焼室に燃料を供給するラインに設置された弁) (噴霧テスト:燃料噴射弁から正常に燃料が噴霧されることを確認する試験)
6	1月22日	2号機	定期検査中	洗濯廃液処理設備の点検において、ランドリドレン濃縮器循環ポンプ用電動機のブラケット内部が摩耗していることを確認した。 当該ブラケットを補修する。 (ブラケット:ベアリングを固定するための部品)
7	1月22日	共通	—	サーベイメーターの点検において、GM計数管(GM-154)が故障していることを確認した。 当該GM計数管を補修する。
8	1月22日	共通	—	サーベイメーターの点検において、GM計数管(GM-60)が故障していることを確認した。 当該GM計数管を補修する。
9	1月23日	2号機	定期検査中	サンプリング系設備において、原子炉浄化系ろ過脱塩器内の水をサンプリングするラインに設置された空気作動弁のシート部からのわずかな水の漏えいを確認した。 当該弁を補修する。 (サンプリング系設備:分析用の試料水を採取する設備) (原子炉浄化系ろ過脱塩器:原子炉内を循環する冷却水の浄化を行う機器)
10	1月23日	共通	—	予備品として管理しているダストサンプラーの点検において、当該ダストサンプラー用流量計の誤差が大きいことを確認した。 当該流量計を補修する。 (ダストサンプラー:空気中の放射性物質濃度を測定するため、空気中の塵をろ紙上に集める装置)
11	1月23日	共通	—	サーベイメーターの点検において、GM計数管(GM-112)が故障していることを確認した。 当該GM計数管を補修する。

No	審議日	号機	プラント 運転状態	不適合事象・処置計画
12	1月23日	共通	—	サーベイメーターの点検において、GM計数管(GM-111)が故障していることを確認した。 当該GM計数管を補修する。
13	1月23日	2号機	定期検査中	非常用ディーゼル発電設備の点検において、ディーゼル機関出口潤滑油温度計の誤差が大きいことを確認した。 当該温度計を補修する。
14	1月24日	共通	—	社有車について、社内で定めた点検周期で点検できていなかったことを確認した。 当該車両を点検する。
15	1月27日	共通	—	サーベイメーターの点検において、GM計数管(GM-78)が故障していることを確認した。 当該GM計数管を補修する。
16	1月27日	共通	—	屋外で実施していた放射線透過検査作業の影響により、自治体に伝送しているNo.6モニタリングポストの指示値が上昇し、中央制御室に警報が発報した。 関係箇所に連絡済み。 (放射線透過検査:放射線を試験体に照射して透過した放射線の強さの変化から欠陥やきずの有無・状態等を調べる検査) (モニタリングポスト:環境モニタリングのため、原子力施設周辺に設置された放射線観測装置)
17	1月29日	2号機	定期検査中	燃料取扱設備の点検において、台車の位置を検出するためのリミットスイッチのローラー内部が摩耗していることを確認した。 当該リミットスイッチを補修する。 (燃料取扱設備:炉心、燃料プール内に設置された燃料を吊上げ移動させる設備)
18	1月30日	共通	—	可搬式ダストモニタの点検において、操作用の液晶パネルが破損していることを確認した。 当該液晶パネルを補修する。 (可搬式ダストモニタ:空気中の放射性物質濃度を測定する可搬式の計測器)

No	審議日	号機	プラント 運転状態	不適合事象・処置計画
19	1月30日	共通	—	サーベイメーターの点検において、電離箱(VIC-61)が故障していることを確認した。 当該電離箱を補修する。 (電離箱:サーベイメーターの一種であり、内部に充填されたガスが放射線により電離することを利用して線量の測定を行う機器)
20	1月30日	1号機	定期検査中	固体廃棄物処理設備において、廃樹脂タンクの入口に設置された電磁弁用ケーブルの電線管の一部(ねじ込み継手部)が接続されていないことを確認した。 当該電線管を接続する。 (固体廃棄物処理設備:発電所建物内で発生する固体廃棄物を処理する設備) (廃樹脂タンク:原子炉に送られる水を浄化するための機器で使用した樹脂を貯蔵するタンク)
21	1月30日	2号機	定期検査中	ほう酸水注入設備の点検において、ほう酸水注入ポンプのギャボックスに設置された油面計からのわずかな油の漏えいを確認した。 当該油面計を補修する。 (ほう酸水注入設備:制御棒挿入不良時のバックアップ設備であり、中性子を良く吸収するほう酸水を注入し原子炉を停止する) (ほう酸水注入ポンプ:中性子を良く吸収するほう酸水を原子炉に注入するポンプ)
22	1月31日	1号機	定期検査中	除染設備において、技術訓練棟等に水を送るラインに設置された弁のシート部からのわずかな水の漏えいを確認した。 当該弁を補修する。 (除染設備:機器の保守点検や放射能汚染除去等により水が必要な箇所に水を送る設備)